

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
世界の鉄道研究	世界の鉄道はいかに発達 あるいは衰退してきたのか	櫻井 寛	2 年次後期
講義の目的	鉄道は約 190 年前にイギリスで発明され、現在では世界 140 か国に鉄道が走っています。2 本のレール上を走るところは共通ですが、その内容たるや 140 種類あると言えます。各国の気象、風土、習慣、文化、経済、宗教、国民性の違いなどによって 140 通りの鉄道が生まれたわけです。各国の鉄道事情を学ぶことは、国際的な一般教養を高めることにも繋がります。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道の発明、発達に寄与した国と人物を理解する。 ・ ゲージ（軌間）の差による各国の鉄道の歴史を理解する。 ・ 高速鉄道を保有する現代の鉄道先進国を理解する。 		
内容講義	イギリスにおける鉄道の発明と発達史。日本に鉄道という文明をもたらした欧米諸国。一方、日本の鉄道技術が輸出されたアジア諸国、近年では欧米諸国への輸出など、我が国と密接な関係にある国々の、鉄道の歴史、現状、文化、技術、システムなどを学び検証します。		
講義スケジュール	第 1 講	オリエンテーション	
	第 2 講	イギリス（鉄道発祥の国）	
	第 3 講	アメリカ（世界最大の鉄道路線網）	
	第 4 講	ドイツ（電化、ディーゼル化の先進国）	
	第 5 講	フランス（世界最高速を目指す）	
	第 6 講	イタリア（デザインで世界をリード）	
	第 7 講	スイス（登山鉄道王国）	
	第 8 講	中国（疑問点の残る鉄道技術）	
	第 9 講	韓国（フランス製 KTX）	
	第 10 講	台湾（日本製 700 T 型）	
	第 11 講	ロシア（世界最長のシベリア鉄道）	
	第 12 講	オーストラリア（ゲージ論①）	
	第 13 講	南アフリカ、ニュージーランド（ゲージ論②）	
	第 14 講	インド、東南アジア（ゲージ論③）	
	第 15 講	まとめ ヨーロッパ高速鉄道	
方法指導	講師撮影の最新鉄道画像とテキストを用い講義形式で展開する。 学生諸君による各自の「世界の鉄道研究」の成果を発表し討論する。		
学習外	当授業では、15 時限でおよそ 15 カ国の鉄道について学びます。その中で興味を抱いている国（日本を除く）を 1 か国以上選び、その国の鉄道について、新聞、雑誌、書籍、インターネットなどで事前に予習し、その成果を該当する授業で発表すること。		
成績評価方法	本試験（筆記試験、持込可）50%、平常点（課題レポート）50%で成績評価する。		
テキスト	櫻井 寛 [2017] 『世界鉄道切手夢紀行』（日本郵趣出版）		
書籍参考	[2015] 『世界の鉄道』（ダイヤモンド・ビッグ社） [2015] 『憧れの鉄道入門』（幻冬舎） [2017] 『ヨーロッパ時刻表』（ダイヤモンド・ビッグ社）		
事項特記	国内外、距離の長短を問わず、鉄道旅行を大いに経験してください。		